

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公表番号】特表2017-508340(P2017-508340A)

【公表日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-544824(P2016-544824)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月4日(2017.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピューティングデバイスに関するロケーションタイプを判定する方法であって、モノのインターネット(IoT)デバイスのセットの存在情報を取得するステップと、IoTデバイスの前記セットに含まれる1つまたは複数のIoTデバイスのデバイスタイプの分類を判定するステップと、

IoTデバイスの前記セットに存在するデバイスタイプの前記分類の数量または一過性に基づいてIoTデバイスの前記セットに関するパターンを観測するステップと、

前記パターンに少なくとも部分的に基づいて、前記コンピューティングデバイスに関するロケーションタイプを判定するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記デバイスタイプの前記分類を判定する前記ステップは、前記コンピューティングデバイスにおいて前記デバイスタイプの前記分類を判定するステップを含むか、または、前記デバイスタイプの前記分類を判定する前記ステップは、前記コンピューティングデバイスにおいて分類情報を受信するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記パターンを観測する前記ステップはパターン認識モジュールに問い合わせるステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ロケーションタイプを判定する前記ステップはさらに信頼度に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ロケーションタイプを判定する前記ステップは、ハードコード化された論理または機械学習の少なくとも一方に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記デバイスタイプの前記分類を判定する前記ステップが、前記デバイスタイプをオープン、洗濯機、乾燥機、および冷蔵庫を含むグループから選択される少なくとも2つのデバイスであると判定するステップを含む場合、前記ロケーションタイプを家庭であると判定するステップをさらに含むか、または、

前記デバイスタイプの前記分類を判定する前記ステップが、デバイスタイプを自動販売

機であると判定するステップを含む場合、前記ロケーションタイプがオフィスであると判定するステップをさらに含むか、または、

前記デバイスタイプの前記分類を判定する前記ステップが、前記デバイスタイプを市販のエスプレッソマシン、市販のコーヒー挽き機、市販の食洗機、および複数の一過性ユーザデバイスを含むグループから選択される少なくとも2つのデバイスであると判定するステップを含む場合、前記ロケーションタイプを小売り環境であると判定するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

コンピューティングデバイスに関するロケーションタイプを判定するための装置であって、

モノのインターネット(IoT)デバイスのセットの存在情報を取得するための手段と、

IoTデバイスの前記セットに含まれる1つまたは複数のIoTデバイスのデバイスタイプの分類を判定するための手段と、

IoTデバイスの前記セットに存在するデバイスタイプの前記分類の数量または一過性に基づいてIoTデバイスの前記セットに関するパターンを観測するための手段と、

前記パターンに少なくとも部分的に基づいて、前記コンピューティングデバイスに関するロケーションタイプを判定するための手段とを備える装置。

【請求項8】

前記デバイスタイプの前記分類を判定するための前記手段は、前記コンピューティングデバイスにおいて前記デバイスタイプの前記分類を判定するための手段、または、

前記コンピューティングデバイスにおいて外部分類情報を受信するための手段を備える、請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記パターンを観測するための前記手段はパターン認識モジュールに問い合わせるための手段を備える、請求項7に記載の装置。

【請求項10】

前記ロケーションタイプを判定するための前記手段は機械学習モジュールである、請求項7に記載の装置。

【請求項11】

前記ロケーションタイプを判定するための前記手段はハードコード化された論理である、請求項7に記載の装置。

【請求項12】

デバイスタイプの前記分類を判定するための前記手段が、前記デバイスタイプをオープン、洗濯機、乾燥機、および冷蔵庫を含むグループから選択される少なくとも2つのデバイスであると判定するための手段を含む場合、ロケーションタイプを判定するための前記手段は、前記ロケーションタイプを家庭であると判定するための手段をさらに備えるか、または、

デバイスタイプの前記分類を判定するための前記手段が、デバイスタイプを自動販売機であると判定するための手段を含む場合、ロケーションタイプを判定するための前記手段は、前記ロケーションタイプをオフィスであると判定するための手段をさらに備えるか、または、

デバイスタイプの前記分類を判定するための前記手段が、前記デバイスタイプを市販のエスプレッソマシン、市販のコーヒー挽き機、市販の食洗機、および複数の一過性ユーザデバイスを含むグループから選択される少なくとも2つのデバイスであると判定するための手段を含む場合、ロケーションタイプを判定するための前記手段は、前記ロケーションタイプを小売り環境であると判定するための手段をさらに備える、請求項7に記載の装置

。

【請求項13】

前記取得するための手段は、モノのインターネット(IoT)デバイスのセットの存在情報を取得するように構成されたロジックであり、

前記判定するための手段は、IoTデバイスの前記セットに含まれる1つまたは複数のIoTデバイスのデバイスタイプの分類を判定するように構成されたロジックであり、

前記観測するための手段は、IoTデバイスの前記セットに存在するデバイスタイプの前記分類の数量または一過性に基づいてIoTデバイスの前記セットに関するパターンを観測するように構成されたロジックであり、

前記判定するための手段は、前記パターンに少なくとも部分的に基づいて、前記コンピューティングデバイスに関するロケーションタイプを判定するように構成されたロジックである、

請求項7に記載の装置。

【請求項 1 4】

機械によってアクセスされたときに、前記機械に、請求項1乃至6の何れか1項に記載の方法を実行させるデータをさらに含む、コンピュータ可読記憶媒体。